

広
報

なすからすやま

Nasukarasuyama City Public Relations

2022
May
No.200

5

あなたにフォーカス!!
広報200号記念&リニューアル

特集 広報200号記念&リニューアル	2
市政情報、地域の情報	6
入園式・入学式	8
まちかどリポート	9
お知らせ	10
みんなの自慢の1枚・桜のたより	12



広報なすからすやまは おかげさまで200号を迎えました



記念すべき第1号は？



No.1 (平成17年10月号) 「那須烏山市誕生」

平成17年10月1日に南那須町と烏山町が合併して誕生した那須烏山市。「広報なすからすやま」は、合併から16年余り、今回の令和4年5月号で200号を迎えました。

記念すべき第1号は、平成17年10月10日発行。表紙は、市旗を持った笑顔の子どもたちです。広報紙には、旧両町の閉庁式を掲載し、町の幕引きを惜しむ人たちの様子が取材されています。

当時の表紙題字「那須烏山」を書いたのは、最後の烏山町長で合併時市長職務執行者だった故・福田弘平さん。当時の担当者から「ユニークで味のある文字を」というリクエストを受け、何度も書き直しながら仕上げたそうです。福田さんが書いたこの題字は、合併から10年以上たった平成28年3月号まで表紙を飾り続けました。

全国広報コンクール入選作品

自治体広報の甲子園とも呼ばれる「全国広報コンクール」。その一枚写真部門で入賞した写真を紹介します。

入選



No.138 (平成29年3月号) 「ありがとうキハ40系」

JR烏山線での運行を引退することとなったキハ40系に感謝を込めて、市内の保育園・幼稚園の園児が挑戦した塗り絵。写真は、塗り絵が完成し、笑顔を見せる園児を撮影したものです。

二席



No.159 (平成30年12月号) 「乳しぼりに挑戦！」

酪農体験事業の一環として市内の小学校で「乳しぼり体験」が行われました。写真は、そのときの児童の緊張しながらも楽しそうに乳しぼりを体験する様子を収めた一枚です。

入選



No.183 (令和2年12月号) 「落ち葉のベッドはふっかふか」

清水川せせらぎ公園で子どもたちを対象に自然に触れる機会を作ろうと企画されたイベントでの写真。落ち葉でできたふかふかのベッドに横になり笑顔を見せる女の子を撮影しました。

広報紙で振り返る

- なすからHISTORY -



No.14 (平成18年11月号)

「映画『檸檬のころ』が市内で撮影」

榮倉奈々などが出演したこの映画は、本市が初めてメインロケ地に選ばれた作品で、旧境中（現境小）校舎をはじめJR烏山駅や民家など市内で多くの撮影が行われました。また、烏山中の吹奏楽部や多くの市民がエキストラとして登場しました。



No.135 (平成28年12月号)

「烏山の山あげ行事がユネスコ無形文化遺産に」

「烏山の山あげ行事」や「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」などを含む全国33件祭礼行事が「山・鈴・屋台行事」としてユネスコ無形文化遺産に登録されました。広報紙には、登録を祝福する多くの人の姿が収められました。



No.187 (令和3年4月号)

「東京2020オリンピック聖火リレー」

舞台上では、104歳の箱石シツイさん（那珂川町）から菊池正一さん（小倉）へ聖火が灯されました。また、市内の各会場では、聖火を祝うイベントが行われ、烏山の山あげ行事の舞台装置が展示され鍛冶町若集団により山があげられたほか、こども歌舞伎も上演されました。



No.89 (平成25年2月号)

「市イメージキャラクター決定」

選考委員会での厳正な審査により、一般応募総数501点の中から3作品が選ばれました。その後、愛称やデザインを決定し、「ここなす姫、からすまる、やまどん」となりました。



No.170 (令和元年11月号)

「台風19号猛威振るう」

本市でも観測史上最大の降水量を記録した台風19号。那珂川や荒川、江川の堤防が決壊し、床上・床下浸水した家屋は254棟に及んだほか、4000世帯が断水するなど、市民生活に大きな影響を及ぼしました。広報紙では、市内の被害状況の詳細を記録写真とともに掲載し、被災者支援についても紹介しました。

200号記念 大幅リニューアル



リニューアルの目的は？

市民の皆さんに支えられ、今月号で200号を迎えた広報なすからすやま。平成17年10月の創刊号以降、行政情報や市のできごとなどを市民の皆さんにお伝えしてきました。

昨今の社会情勢の変化により、伝える情報から伝わる情報にすることが求められています。今回の200号をきっかけに、市民の皆さんに必要な行政情報や市の魅力をより読みやすく、分かりやすく伝えるために、デザインを一新するとともに、だれもが読みやすいユニバーサルデザインを導入するなどリニューアルすることとしました。

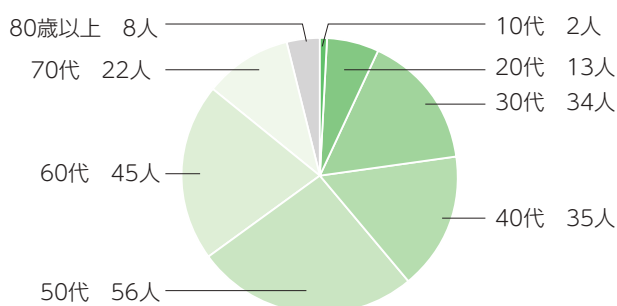
どの世代の人にも、手に取ってもらい、読んでもらえる広報紙にすることで、情報発信による市民サービス向上を目指します。

読者の声

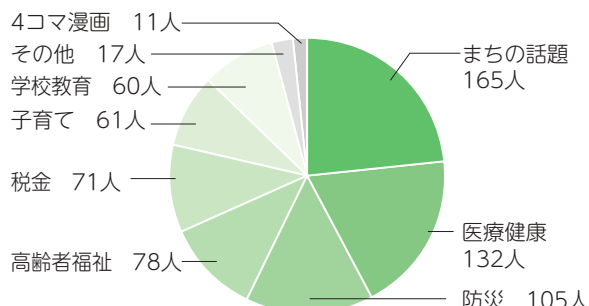
令和3年8月16日(月)～9月30日(木)に行ったアンケート結果の一部を紹介します。

●回答者数：215人(女性108人、男性107人)

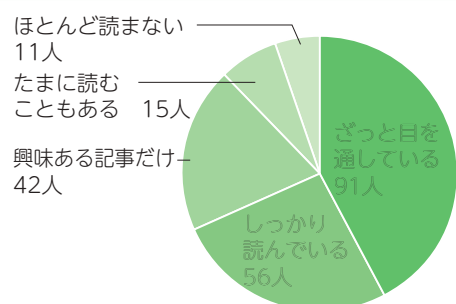
読者の年齢層



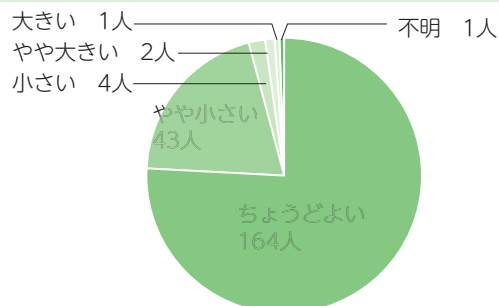
読みたい(興味のある)記事(複数回答有り)



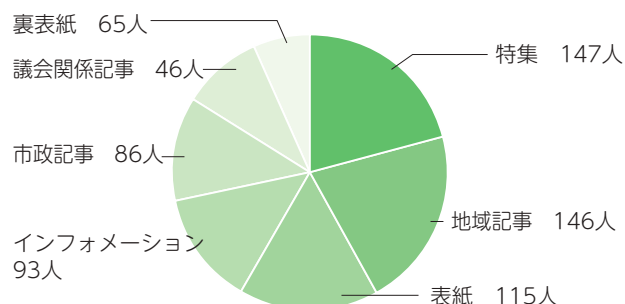
どの程度読んでいるか



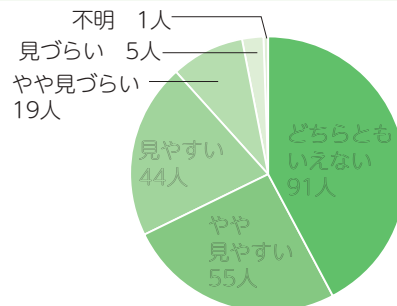
文字の大きさ



よく目を通す記事(複数回答有り)



記事の配置やバランス





広報なすからすやま ここが変わりました！

コンセプト

見やすく 手に取る 読みやすさ

point

思わず手に取りたくなる魅力ある広報紙に

point

幅広い年齢層(特に若年層)に刺さる広報紙に

point

市民に寄り添う広報紙に

01 表紙のデザインを新しくし、 特集に関連する写真に

幅広い世代が手に取りたくなるような魅力あるデザインにするとともに、2ページ目をめくってもらえるよう、特集記事と関連付けた写真にします。

02 より読みやすく、見やすい レイアウトに

だれもが読みやすい「ユニバーサルデザイン(UDフォント)文字」を導入し、1ページあたりの文字数や行数を少なくしました。また、固定枠を採用し、統一感のある見やすいレイアウトにしました。

03 読みたい記事を見つけやすく

読みたいカテゴリーがすぐ分かるよう、奇数ページの左端に「インデックス」を記載しました。

04 コストを削減し、 スマートな広報紙に

これまであった綴り穴をなくすことで、年間約8万円の費用を削減可能に！

05 地域的话题をボリュームアップ！

アンケートで関心度が高かった「地域記事」や「まちの話」をより充実させるため、新コーナーとして地域に貢献している人や輝く人を紹介する「まちかどリポート」や市民が撮影した写真を紹介する「みんなの自慢の1枚」がスタートします。

タイトルロゴを新しく

特集記事と関連する写真に



ユニバーサル
デザイン文字を採用

シンプルで見やすい
レイアウトに



地域的话题を
ボリュームアップ

インデックスで
記事を見つけやすく



今後も皆さんから愛される広報紙を目指します。
新コーナーも企画中です
ので、お楽しみに！



▲川俣市長と田代教育長に学習教材とランチョンマットを手渡す中山組合長ら

J Aなす南が 小学校へ学習教材を寄贈

4月12日(火)、J Aなす南(中山正樹組合長)が、市内5つの小学校に農業に関する学習教材やランチョンマットを寄贈しました。

この事業は、平成9年から続いているもので、1年生に「ランチョンマット」が、3年生に「とちぎの農業」、5年生に「農業とわたしたちのくらし」の教材本が贈られました。

中山組合長は、「教材などを活用して子どもたちに農業を身近に感じてもらい、農畜産物の理解を深めてほしい」と話していました。



▲あかちゃんタイムを利用して一緒に本を選ぶ親子

あかちゃんタイムや俳句ポストなど・・・ 図書館の新規事業を紹介します！

市立図書館では、新たな取り組みとして「あかちゃんタイム」を始めました。これは、小さな子ども連れの保護者に気兼ねなく図書館を利用してもらい、子どもと一緒に絵本をゆっくり選んでもらうことがねらい。南那須図書館は第2水曜日、烏山図書館は第3水曜日の午前10時～正午に実施しています。

そのほか、利用者が自由に投句できる「俳句ポスト」も設置していますので、この機会に、ぜひ、図書館に行ってみませんか？



▲子どもたちが手作りのぼり旗

全国から訪れる選手を応援しよう！ 手作りのぼり旗を展示

市では、市内の小・中学生が作成した「国体手作り応援のぼり旗」94枚を、市役所南那須庁舎ロビーに3月3日(木)から4月14日(木)まで展示しました。

これは、全国から訪れる選手たちを歓迎し、応援する目的で作成したもの。都道府県別に2枚ずつ作成されたのぼり旗には、児童・生徒が調べた特産品やご当地キャラクターのほか、方言を使った応援メッセージが描かれています。



▲作成した記念誌とDVD

ふれあいの里10周年の 記念誌・DVDを作成しました！

市と社会福祉協議会では、ふれあいの里事業が10周年を迎えたことから、記念誌と記念DVDを作成し、市内15か所のふれあいの里へ配付しました。DVDは市の公式YouTubeでも配信していますので、ぜひ、ご覧ください。

また、4月6日(水)には、神長自治会で16か所目のふれあいの里がオープンしました。初回は、真新しい神長公民館にスタッフ9人、利用者25人が参加。利用者からは「これから毎週来られるところができて楽しみ」との喜びの声があがりました。



▲龍門の滝に関するジオガイドを受ける参加者

着物で春の街歩き 満開の桜とジオサイト散策楽しむ

4月9日(土)、街に賑わいを興す会(小堀ひろ子会長)が、「着物で桜とジオサイト散策」を開き、市民20人が参加しました。感染症対策を講じながら3年ぶりに開催した今回は、清水川せせらぎ公園や南那須図書館付近を散策したほか、なすからジオの会プチャーロの澤村俊夫さんから龍門の滝に関するジオガイドを受けました。

夫妻で参加した小口格男さん・邦子さん(興野)は、「着物で満開の桜や滝を見られてうれしい。ジオサイトの解説も分かりやすく、参加できてよかった」と笑顔を見せました。

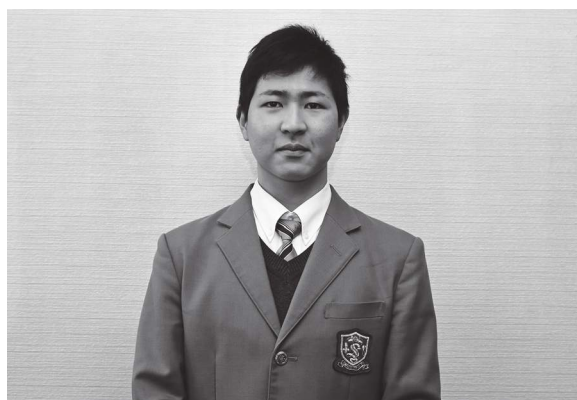


▲晴天のもと、笑顔で駆け抜ける選手たち

エクストリームシリーズ2022那珂川大会 春の里山を舞台に冒険レース

4月16日(土)、エクストリームシリーズ2022那珂川大会が、大木須のオオムラサキ公園を発着点に開催されました。大会には、24チーム65人が参加し、トレッキング、マウンテンバイク、オリエンテーリング、カヤック、チームチャレンジの5種目でタイムを競い合う過酷なレースに挑みました。レースは境地区の山中や那珂川流域に設定されたチェックポイントをまわりながら約30キロメートルを走破しゴールを目指すというもの。

出発前には、選手たちに地元産のそばが振る舞われ、うららかな日差しの中、笑顔で出発していきました。



▲国体に出場した塩田さん

塩田優介さんが スキー競技で国体に出場

作新学院高校2年の塩田優介さん(大金)が、2月17日(木)～20日(日)に秋田県で開かれた「第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会」に栃木県の代表選手として出場しました。

1月14日(金)に開かれた県予選会で、見事5位に入賞し、県選手団に選ばれた塩田さん。大会を振り返り、「自分の力を全て発揮しきれず悔しい気持ちもあったが、国体出場は良い経験となった。来年の国体では、納得のいく滑りをし、今年よりも順位を上げたい」と話しました。



▲写真への思いや烏山和紙の魅力を語る和嶋さん

温もり感じる写真の数々を展示 烏山和紙に美しい風景映し出す

写真家の和嶋歩さん(那須塩原市)が4月16日(土)～5月1日(日)に山あげ会館で「烏山和紙写真展」を開催しました。写真は、和嶋さんが撮影した風景などを烏山和紙に印刷したもので、初の試み。16日(土)には、同会場でトークイベントを開催し、市民など約20人を前に、福田製紙所の福田博子さんやなすから特派員の大橋尚子さん、市観光協会職員が烏山和紙や山あげ祭などについて話しました。

和嶋さんは、「写真を見てもらえることが喜び。烏山和紙の魅力を再認識できたので、今後も発信していきたい」と今後の活動に意欲を見せました。



③



②



①

入園・入学 おめでとうございます

4月に入り、市内の小・中学校で入学式が行われました。

4月11日(月)には、2つの中学校で196人が入学し、12日(火)には、5つの小学校で129人が入学。夢と希望を胸に新たな生活をスタートさせました。また、幼稚園や保育園でも入園式が行われました。

ここでは、いくつかの入園式・入学式の様子を紹介します。

- ①南那須中、②キッズランドあさひ、③境小、
- ④つくし幼稚園、⑤ゆうゆうランド那須烏山園、
- ⑥にこにこ保育園、⑦烏山中、⑧江川小



④



⑤



⑥



⑧



⑦

まちかど*リポート



リンゴの摘花作業中

子どもからお年寄りまで
地域の人に喜んでもらえる農園づくりを—

果樹農家 中村 麻衣 さん



善一さんと一緒に

プロフィール

- 住 所：興野
- 市在住歴：1年
- 出身地：北海道
- 趣味：相撲観戦

中学生の頃から果樹農家に憧れていた中村さんは、新しいことに挑戦したいと、フィットネス業界から農業の世界に飛び込みました。そこで、本市でナシ園とリンゴ園を経営していた阿相善一さん・節子さん夫妻と出会い、「この人から果樹栽培を学びたい」と宇都宮市から本市に移住。果樹園を継承することを決意しました。

中村さんは、J Aなす南や市が行っている「南那須農業アカデミー」での研修を経て、4月から本格的に農業者としての生活がスタート。現在は、善一さんとともに作業をしながらリンゴ作りを学んでいます。善一さんは、「中村さんが来てくれたから、ナシとリンゴの木を残すことができた」とほっとした表情を見せます。

本市での生活は、都会と比べると多少不便なところはあるものの、自分が思い描いていた田舎暮らしや農業ができていそう。中村さんは、「全て自分で考え決める果樹園の経営は、不安もあるが楽しみもある。今年は決断力を養う年にしたい」と話します。

「果樹の販売だけでなく農業を体験してもらい、地域の皆さんに喜ばれる農園を作りたい」と笑顔で語った中村さん。9月下旬の果樹園オープンに向け、日々、奮闘しています。

JR烏山線全線開業100周年事業 「からせん」の思い出

JR烏山線が令和5年4月に全線開業100周年を迎えることを記念し、市民の皆さんから寄せられた「からせん」の思い出を紹介します。

山田清さん（森田）からのエピソード

数多い思い出の中から一番脳裏に残っている事は、約70年前の3、4才の頃の出来事である。

森田トンネルに近い田圃で両親の野良仕事に連れられ畦でひとり遊んでいる時、突然ディーゼルカーの車窓から風呂敷包みが飛んできた。キャラメルやパンが一杯入っていた。戦後間もない頃の物不足の時代、予期せぬご馳走に驚き、それはとても美味しく嬉しかった。

不憫に思う父の友人からの暖かな贈り物だった。

今、この田には蛍が舞い、向田葵、彼岸花が咲き観光スポットになり、私にとって遠い昔の懐かしい思い出がある。

あなたのとおきエピソードをお待ちしています！

募集内容

「からせん」にまつわる思い出エピソード（200文字以上250文字以内）。写真も掲載できます。

応募方法

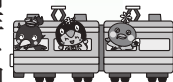
住所、氏名、連絡先を記入のうえ、メールなどで左記あて送付する。

※詳細は、左記あてお問い合わせください。

■問合 まちづくり課地域づくりグループ

☎0287-183-1115

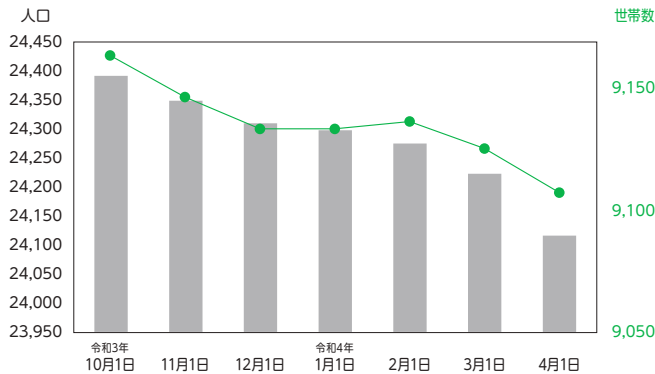
Eメール：machizukuri@city.nasukarasuyama.lg.jp





市の人口

令和4年4月1日現在



人口 24,116(-107)

男	12,007	女	12,109
出生	1	死亡	48
転入	82	転出	142

世帯数 9,108

※()対前月比
※令和2年国勢調査を基に集計した統計人口です。



エクストリームシリーズ2022那珂川大会より

■ふるさと応援寄附金
DE ALCANTARA MARCELO 様
(東京都江東区)から1万円、匿名希望者様
6人から合計11万5000円が本市に
寄附されました。

■レインボーハウスへの寄附金
誠道塾那須烏山共育の会様から
1万2000円が寄附されました。

■市立小・中学校図書購入費寄附金
樋山洋様(向田)から100万円が寄附
されました。



「グ」寄附 ありがとうございます
「ご」ざいます

※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。



おめでた

知事と語ろう！

とちぎ元気フォーラム in那須烏山

県民の皆さんと知事が直接話し合うフォーラムを開催します。気軽にご参加ください。

■日時 6月18日(土)

午後1時30分～3時30分

■場所 烏山公民館(中央2-13-8)

■対象 県内に在住・在勤・在学
している人(定員50名)

■申込 6月1日(水)までに申込書兼参加アンケート(県ホームページ掲載または総合政策課備付)に記入のうえ、下記あてFAX、メール、郵送で申し込む。

■問合せ 県広報課 ☎028-623-2158

〒320-8501 ※住所は記入不要です

FAX: 028-623-2160

Eメール: kocho@pref.tochigi.lg.jp

◀県ホームページ



先着100人に景品プレゼント！

「なすから民話地めぐり」開催中

市では、民話のアニメーション動画やデジタル観光周遊ナビを活用した民話ツーリズムを促進し、地域への郷土愛の醸成や「Withコロナ」に対応した新たな観光誘客を図るため、「なすから民話地めぐり」を開催しています。

なすから民話地めぐりでは、観光周遊ナビを使って指定した4か所の民話ゆかりの地を巡ります。参加費は無料で、どなたでも参加できます。また、達成者先着100人には500円分の地元特産品または民話の本をプレゼント！コロナ禍の今だからこそ、デジタル観光を活用して、市の魅力を再発見してみませんか？

【参加方法】

- ①山あげ会館で受付表に必要事項を記入
- ②観光周遊ナビを使って目的地へ出発！！
- ③民話の地に到着したら写真を撮影
- ④撮影した写真を山あげ会館のスタッフに提示
- ⑤景品ゲット！

【指定の民話地】

- ◇お救い小屋(天性寺参道) ◇お六姫伝説(天性寺)
- ◇烏山の名のおこり(烏山城跡)
- ◇お城を救った牛と蛭(清水川せせらぎ公園)



市HP



観光周遊ナビ





編集後記

広報なすからすやまがリニューアルしました！これを機に、より多くの皆さんに手に取っていただければ嬉しいです。

広報担当になって早3年目、変わったことと言えば、腕の筋力がアップしたことです（なんでだろう）。カメラを構えるだけで筋肉痛になっていた最初の頃が懐かしい。とりあえず筋力はこのままキープして、余分についているお肉は削りたいところです…

それはさておき、広報なすからすやまでは、これからも新コーナーを増やしていく予定です！ますますパワーアップした広報紙をお届けできるよう頑張りますので、引き続きよろしくをお願いします😊



新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0804
鳥山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

図書館HPから新着図書が検索できます。 <https://lib-nasukarasuyama.jp/>

◆一般図書◆

『月の王』 馳 星周
『ハイドロサルファイト・コンク』 花村 萬月
『菜の花の道』 藤原 緋沙子
『ブランディングズ城のスカベ騒動』 P.G.ウッドハウス
『アルツ村』 南 杏子
『プリズン・サークル』 坂上 香
『季節を味わう手仕事レシピ』 スズキ エミ
『遺す言葉』 瀬戸内 寂聴

◆児童図書◆

『ゆきちゃんは、ぼくのともだち！』 武田 美穂
『神社のえほん』 羽尻 利門
『ヒストリーアトラス』 ドーリング キンダースリー社編集部

『ボランティアたちの物語』 日本財団ボランティアセンター
『フルーツふれんずイガグリくん』 村上 しいこ
『モンスター・ホテルで ろてんぶろ』 柏葉 幸子
『13枚のピンぼけ写真』 キアラ カルミナーティ

◆DVD◆

『犬部！ INUBU』 篠原 哲雄監督
『望み』 堤 幸彦監督
『BLUE ブルー』 吉田 恵輔監督
『恋愛小説家』 ジェームズ・L.ブルックス監督
『アダムス・ファミリー』 コンラッド・ヴァーノン監督
『ウルトラマン・ヒストリー 銀の章』 円谷プロダクション制作



文芸コーナー

俳句

水野 信一 選

斯く子規も遠き桜を見渡るとや
三森 純子（中央）

ウォーキングに鼻唄軽し桜時
須田 孝子（城東）

水温む昔ばなしに桜太郎
伊藤 善子（田野倉）

春風や歩み緩りと老い成りに
渡辺 節子（大金）

川柳

篠崎 酔月 選

春風の軽い身仕度散歩道
荻野目香津（中央）

しもつかれ味談義にも花が咲き
石川 義郎（興野）

ひこばいのつやつや光る櫟株
笹崎 宗太（ハケ代）

春うらら猫も日向で眠くなり
川上美智男（大里）

短歌

滝口 節子 選

介護する身も受ける身も背の縮み互いに木の葉髪
川俣登志子（旭）

再びは使うことなき老眼鏡亡き夫偲び縁にて磨く
水上キヨ子（志鳥）

色違いの息子がくれし携帯は機能がよくボケ防止にも
安藤 伯麗（旭）

七十年前に植えたる福寿草増えて金の絨緞のごとし
平野フミ子（向田）

作品集

毎月10日までに、総合政策課広報広聴グループ
（〒321-0692）那須烏山市中央1丁目
1番1号）あて、郵送で作品を応募ください。

広告掲載募集中

市では、「広報お知らせ版」・「広報なすからすやま」・
「市ホームページ」の有料広告を募集しています。
掲載基準などの詳細は、市ホームページで確認する
か、下記あてお問い合わせください。

■総合政策課広報広聴グループ
☎0287-83-1112

安心と安全をサポート！

三井住友海上代理店

(有)しおや保険事務所

◇損害保険：自動車・火災・企業賠償（サイバー）他

◇生命保険：新総合収入保障・新医療・ガン保険 他

◆お問合せ 〒321-0526 那須烏山市田野倉383

TEL:0287-88-9870 FAX:0287-88-0234

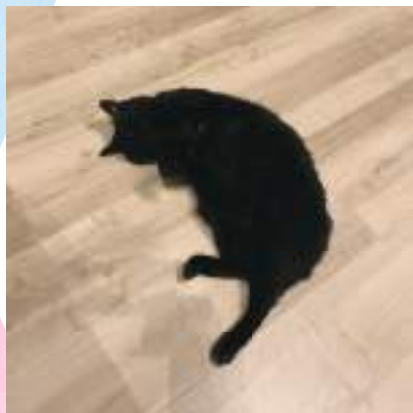
みんなの 自慢の1枚



このコーナーでは、市民の皆さんが撮影した写真を掲載します。
お子さんの写真(中学生以下)、市内のイチオシ風景や穴場ス
ポットの写真、ペットの写真、偶然撮れたおもしろい写真(珍
百景)など、どしどし気軽にご応募ください。

■問合 総合政策課広報広聴グループ

Eメール: sohghoiseisaku@city.nasukarasuyama.lg.jp



「なんか落ちてる」

七味マヨさん

我が家にはこの黒いもふもふ
がよく落ちています。おやつ
の夢でも見ているのかな ^ ^



「ポメラニアンスマイル」

ケンシローさん

せせらぎ公園での爆走散歩が
大好き！那須烏山にドッグラ
ンができたううれしいなあ。



「The なすからすやま」

人生右往左往さん

那須烏山といえば清流那珂川！
たまには違う角度からパシャリ📷
アユ釣り解禁が待ち遠しい。



◀南那須図書館付近



◀清水川せせらぎ公園



◀山あげ会館



◀滝水辺公園

春らんまん
市内各地に桜のたより

4月上旬に市内の桜が見ごろを迎えました。今年は、平年より3日ほど早い開花となり
ましたが、開花後に気温が低い日が続いたこともあり、比較的長い期間桜の花を見る
ことができました。

市内の桜スポットは、満開の桜の下を散策する親子連れやカメラマンなどでにぎわい、
それぞれの花見を楽しんでいました。

